

各種図面（断面・矩計・展開・立面）への部品の表示

文書管理番号：1060-04

Q. 質問


断面図や矩計図、展開図、立面図に表示されない部品がある。

A. 回答

A's（エース）で登録されている3次元部品は、立面・断面表現があらかじめ登録されており、図面に出力する設定がされているものは、断面図や矩計図、展開図、立面図でも表示できます。

オリジナルやメーカーのグループに登録されている設備部品は、あらかじめ図面に出力する設定がされていますが、部品によっては設定がされていないものもあります（WEB 部品のグループに登録されている部品や家具・置物などの部品）。




このような3次元部品は、立面・断面表現を作成し、図面に出力する設定を行って登録すると、断面図や矩計図、展開図、立面図でも表示できます。

3次元部品の立面・断面表現の作成や各種図面への出力設定は、 (部品作成)で行えます。

ここでは、内観部品の家具に登録されているAVボードの部品を例に、立面・断面表現を作成し、各種図面への出力設定を行い登録する手順を説明します。他の部品も、同様の手順で行えます。

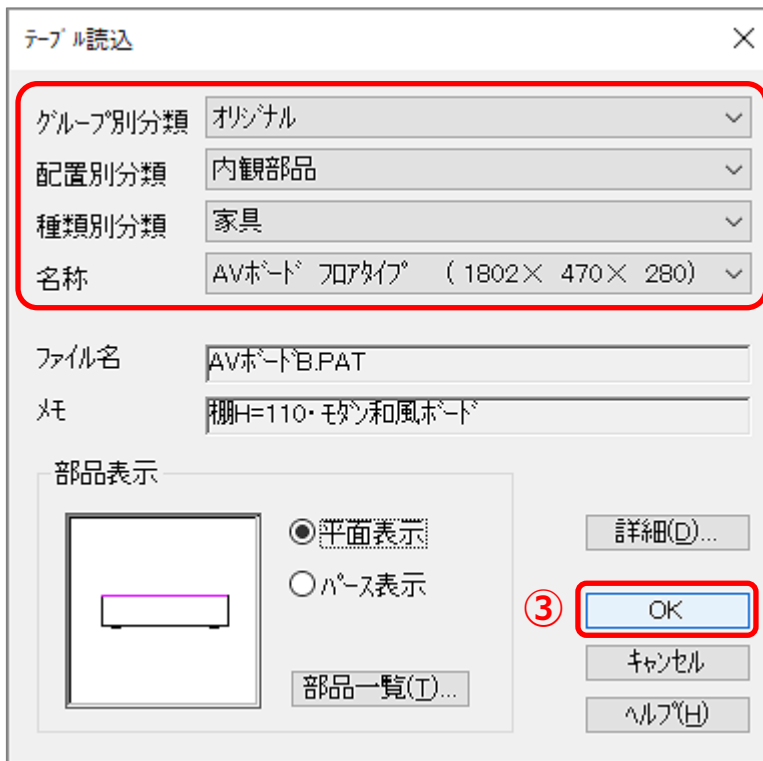
操作手順

● 部品の読み込み

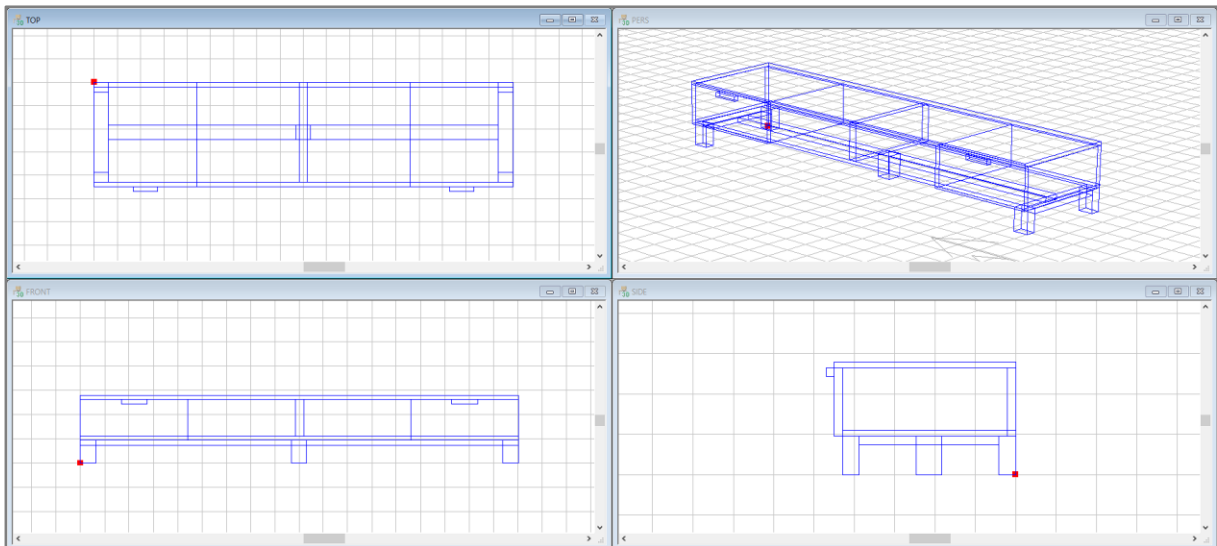
- ①  (クイックメニュー)またはメインメニューの「ツール・他」タブから (部品作成)をクリック
 - * 3次元部品作成の画面が表示されます。
- ②  (テーブル読込)をクリック
 - * テーブル読込の画面が表示されます。
 - * 「ファイル」⇒「テーブル読込」を選択してもかまいません。

③ グループ別分類・配置別分類・種類別分類を選択し、名称から目的の部品を選択後、「OK」をクリック

* ここでは、グループ別分類「オリジナル」、配置別分類「内観部品」、種類別分類「家具」から「AVボード フロアタイプ」を選択します。






* 3次元部品作成画面に、選択した部品が読み込まれます。





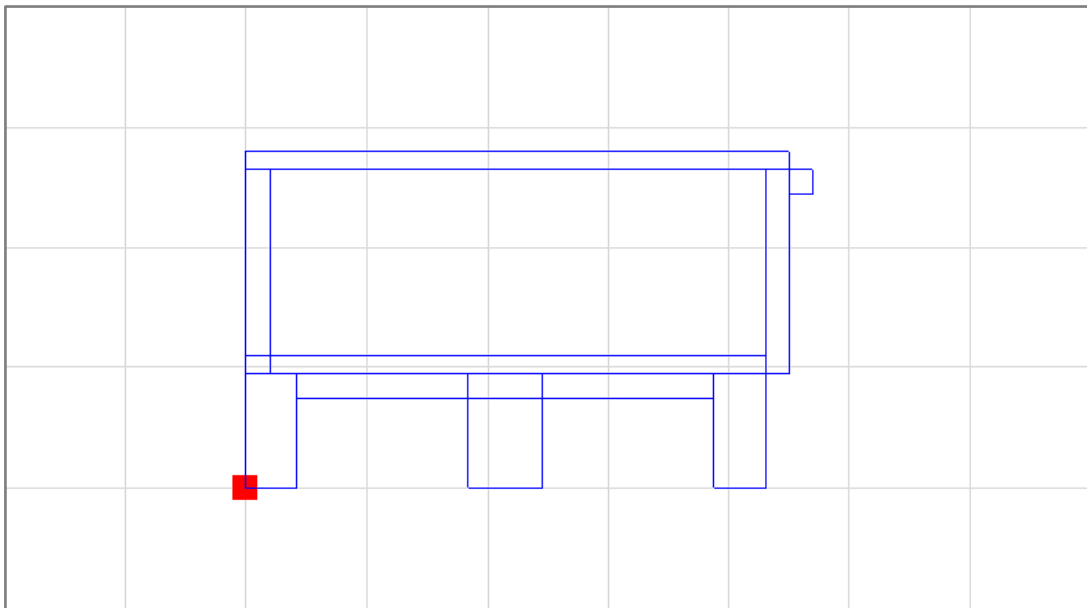
● 断面の作成


部品の4方向の断面表現を作成します。

- ①  (断面) から  (左断面) が押されていることを確認し、 (断面自動作成) をクリック

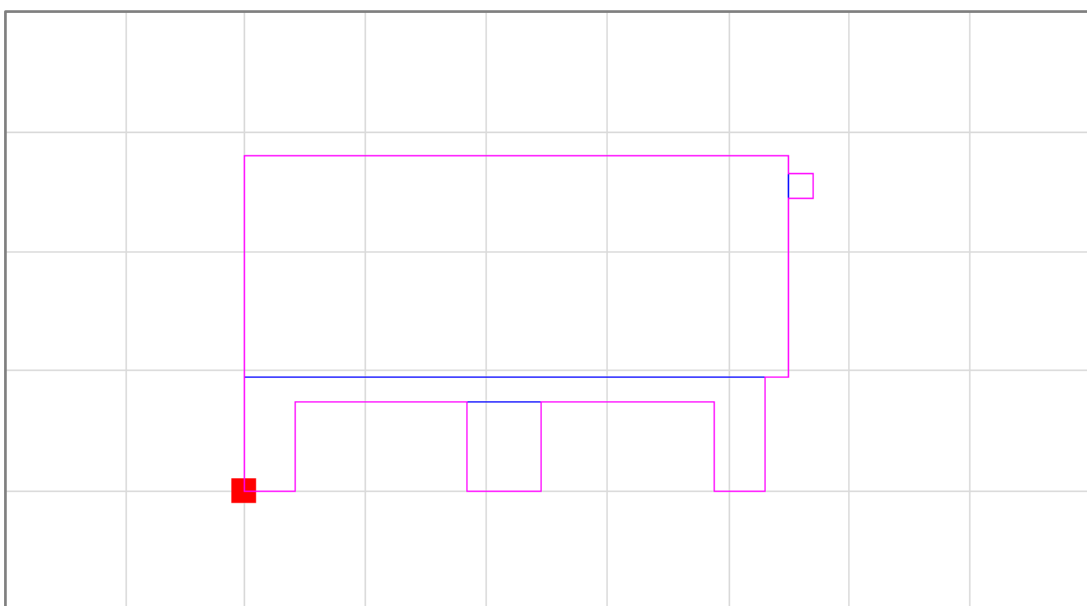
- * 2D画面の左側から見た際の断面図が自動作成され、読み込まれます。
- * 読み込まれた図面は、任意に要素を編集してください。




キーボードの[Shift]キーと[Ctrl]キーを押しながら、 (断面自動作成) をクリックすると図面編集が起動し、図面が読み込まれます。図面編集で編集後、図面編集の画面を閉じると、 (左断面) の画面に編集後の図面が読み込まれます。



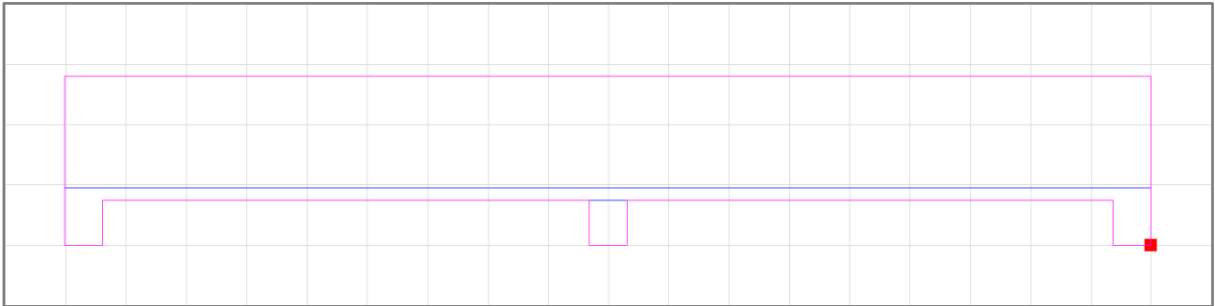
- ②  (自動外郭作成) をクリック

- * 外郭線を自動認識し、ピンク色の線が表示されます。

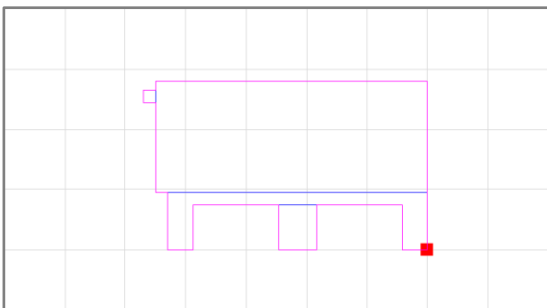


- ③  (上断面)、 (右断面)、 (下断面)についても、P.3 の①・②の操作を行い、各方向の断面表現と外郭線を作成

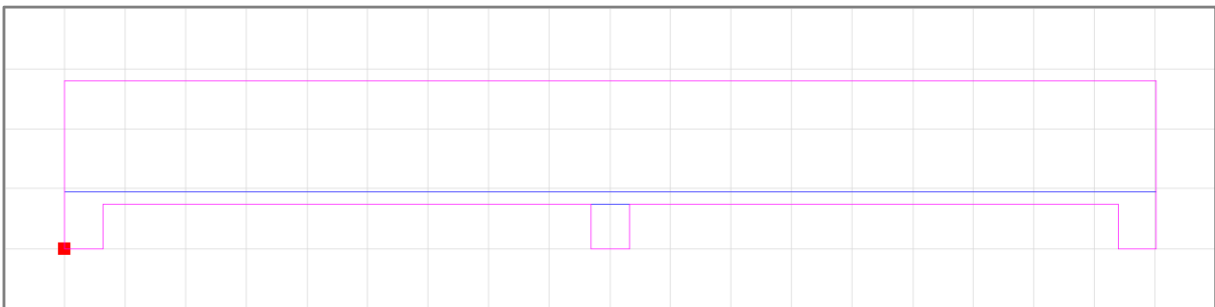
<上断面>



<右断面>






<下断面>






● 立面の作成（操作は断面の作成と同様です）

部品の4方向の立面表現を作成します。




- ①  (立面)から  (左立面)が押されていることを確認し、 (立面自動作成)をクリック

- * 2D画面の左側から見た際の立面図が自動作成され、読み込まれます。
- * 読み込まれた図面は、任意に要素を編集してください。

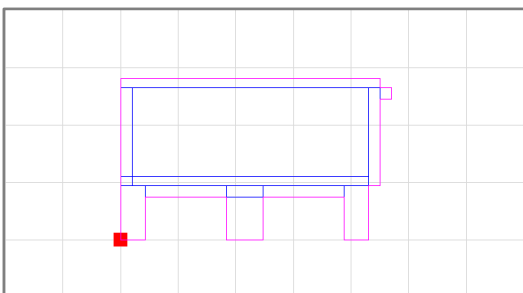
キーボードの[Shift]キーと[Ctrl]キーを押しながら、 (立面自動作成)をクリックすると図面編集が起動し、図面が読み込まれます。図面編集で編集後、図面編集の画面を閉じると、 (左立面)の画面に編集後の図面が読み込まれます。

- ②  (自動外郭作成)をクリック

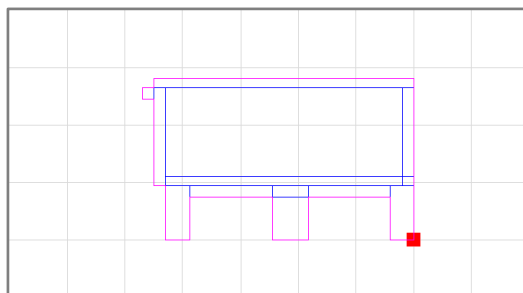
- * 外郭線を自動認識し、ピンク色の線が表示されます。

- ③  (上立面)、 (右立面)、 (下立面)についても、同様に①・②の操作を行い、各方向の立面表現と外郭線を作成

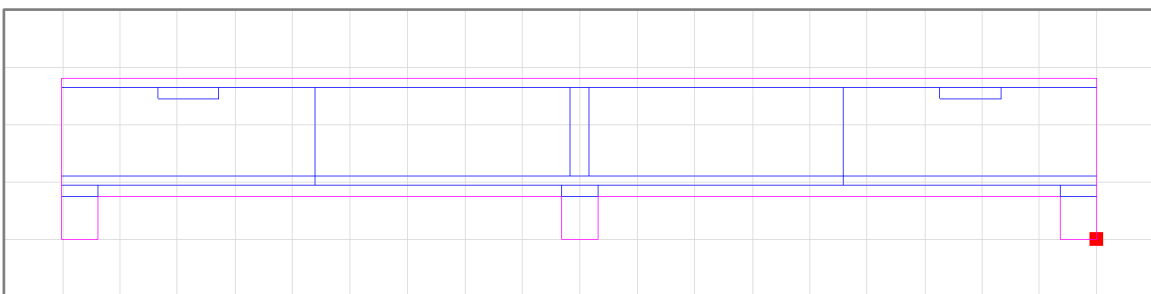
<左立面>



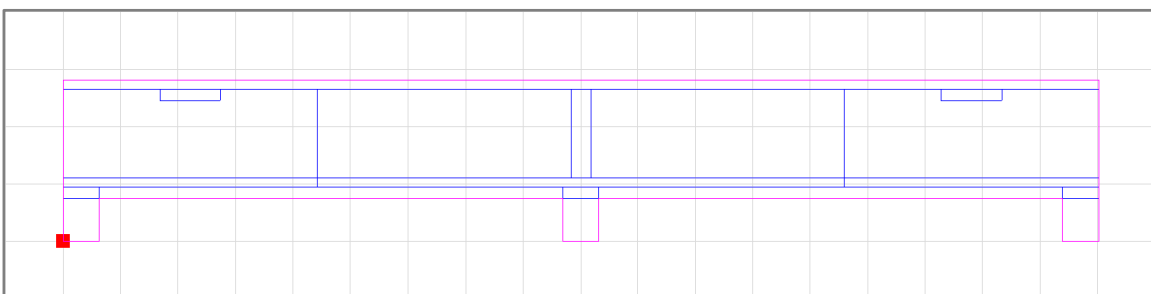
<右立面>



<上立面>



<下立面>

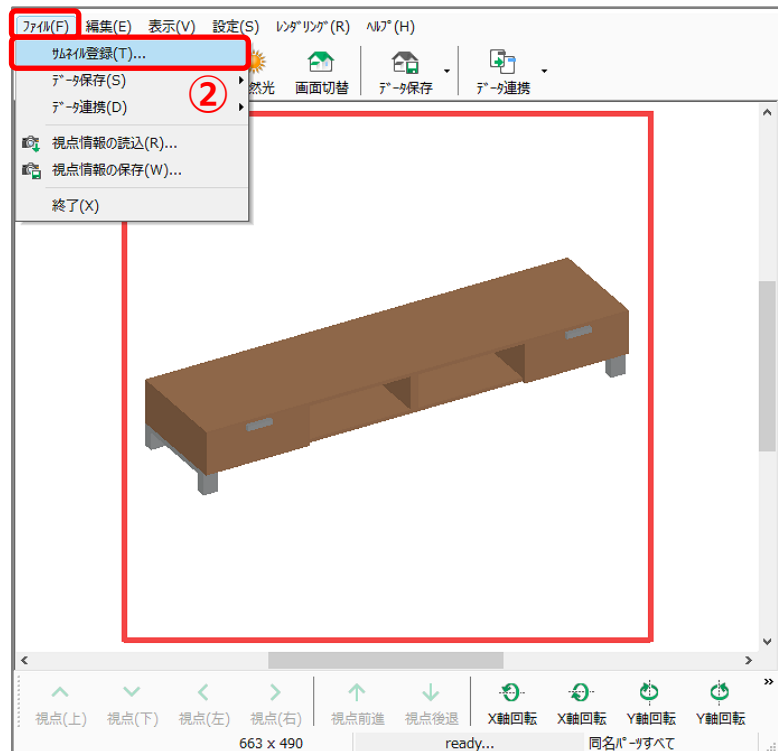


● 部品のパース画像（サムネイル）の登録

部品配置時に表示される部品のパース画像（サムネイル）を作成します。

- ① (レンダリング)をクリック
 - * 3次元部品パース表示の画面が表示されます。

- ② 部品の色や向き、大きさなどを調整し、「ファイル」⇒「サムネイル登録」をクリック
 - * 背景・前景の画面が表示されます。




- ③ 背景・前景の設定はそのまま「OK」をクリック
 - * サムネイル登録の画面が表示され、レイトレース2でレンダリングが実行されます。

- ④ レンダリング完了後、「閉じる」をクリックし、3次元部品パース表示の画面も、「×」をクリックして閉じる
 - * 3次元部品パース表示の画面は、「ファイル」⇒「終了」を選択して閉じてもかまいません。
 - * 部品配置時に表示される部品のパース画像（サムネイル）が自動で登録されます。



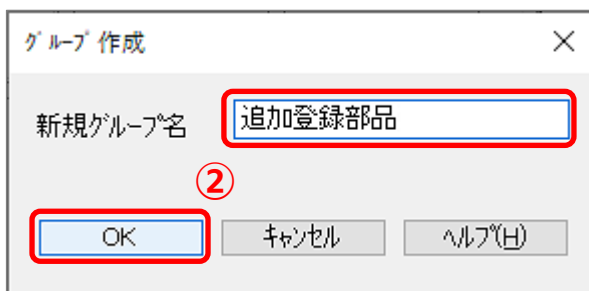
● 部品のテーブル登録

① (テーブル登録)をクリック

- * 「ファイル」⇒「テーブル登録」を選択してもかまいません。
- * グループ作成の画面が表示されます。
- * あらかじめ登録されているシステムグループ（オリジナルや WEB 部品など）には、部品を追加することができません。必ずグループを作成してください。
- * 既に作成したグループがある場合は、テーブル登録の画面が表示されます。既存のグループに登録する場合は、そのまま P.8 操作③へ進んでください。
- * 新たなグループに登録する場合は、テーブル登録の前に、 (テーブル編集)の「グループ作成」でグループを追加してください。



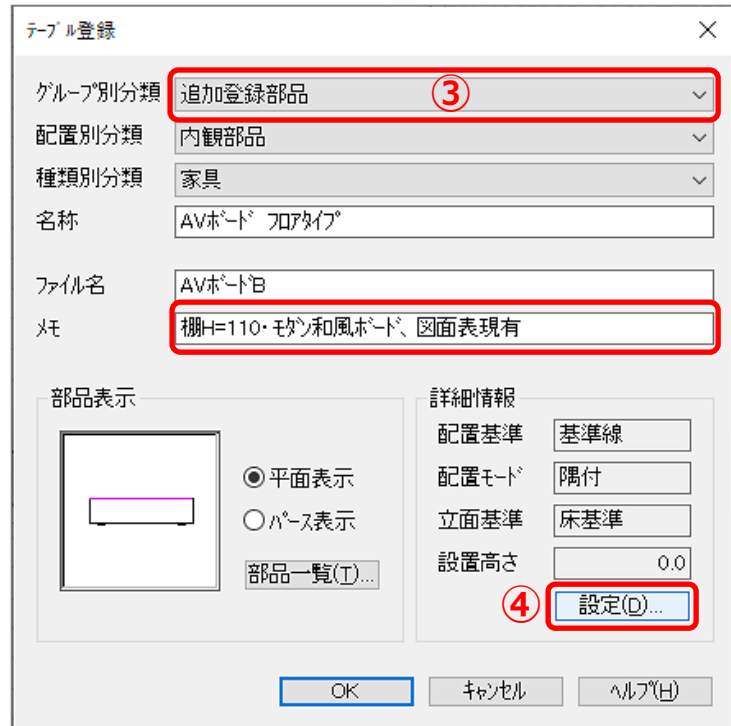
② 編集した部品の登録先となる新たなグループ名を入力し、「OK」をクリック



- * ここでは、「追加登録部品」としています。
- * テーブル登録の画面が表示されます。

③ グループ別分類を「追加登録部品」または既存の登録先グループに設定

- * 配置別分類、種類別分類、名称、ファイル名はそのままにかまいません。
- * 各種図面に表示される部品であることをメモに追記をしておく、部品選択時に確認ができます。



テーブル登録

グループ別分類 追加登録部品 ③

配置別分類 内観部品

種類別分類 家具

名称 AVホート[®] フォタイプ[®]

ファイル名 AVホートB

メモ 棚H=110・モダン和風ホート、図面表現有

部品表示

平面表示 (選択)

パース表示

部品一覧(I)...

詳細情報

配置基準 基準線

配置モード 隅付

立面基準 床基準

設置高さ 0.0

④ 設定(D)...

OK キャンセル ヘルプ(H)

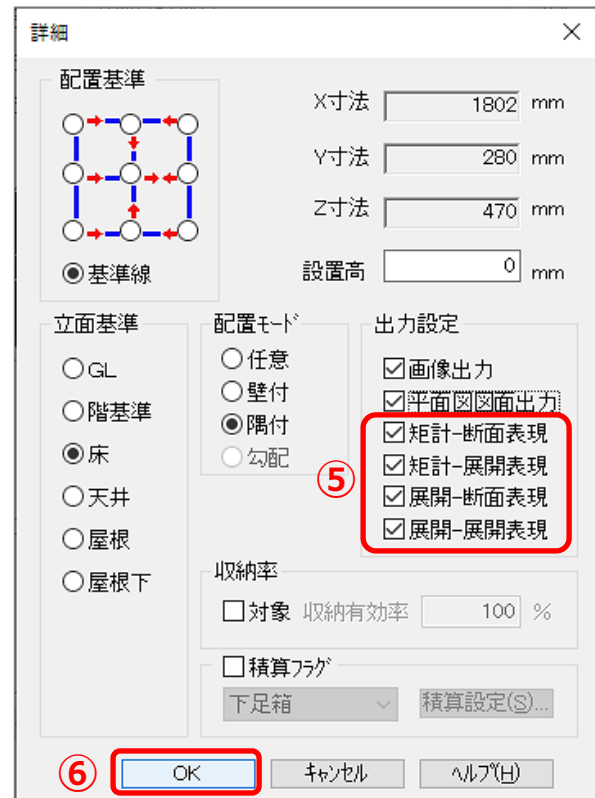
【参考】 テーブル登録時の分類について（立面図に表示させたい部品の場合）

内観部品は、立面図には表示されません。立面図に表示させたい内観部品は、テーブル登録時に、配置別分類を「付属部品」、種類別分類を「造作」に設定してください。名称、ファイル名はそのままにかまいません。

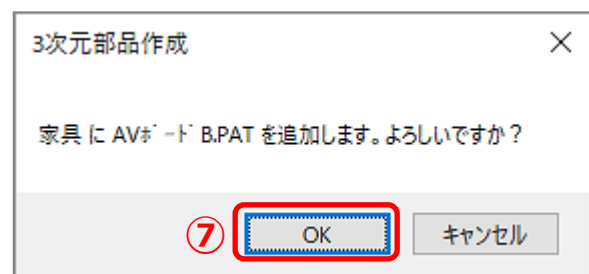
詳しくはこちらをご覧ください。

[\[1268\] 立面図に表示される部品について](#)

- ④ 詳細情報の「設定」をクリック
- * 詳細の設定画面が表示されます。
- ⑤ 出力設定の「矩計-断面表現」「矩計-展開表現」「展開-断面表現」「展開-展開表現」の4つにチェックを入れる
- ⑥ 詳細の設定画面を「OK」で閉じ、テーブル登録の画面の「OK」をクリック
- * 追加確認のメッセージが表示されます。



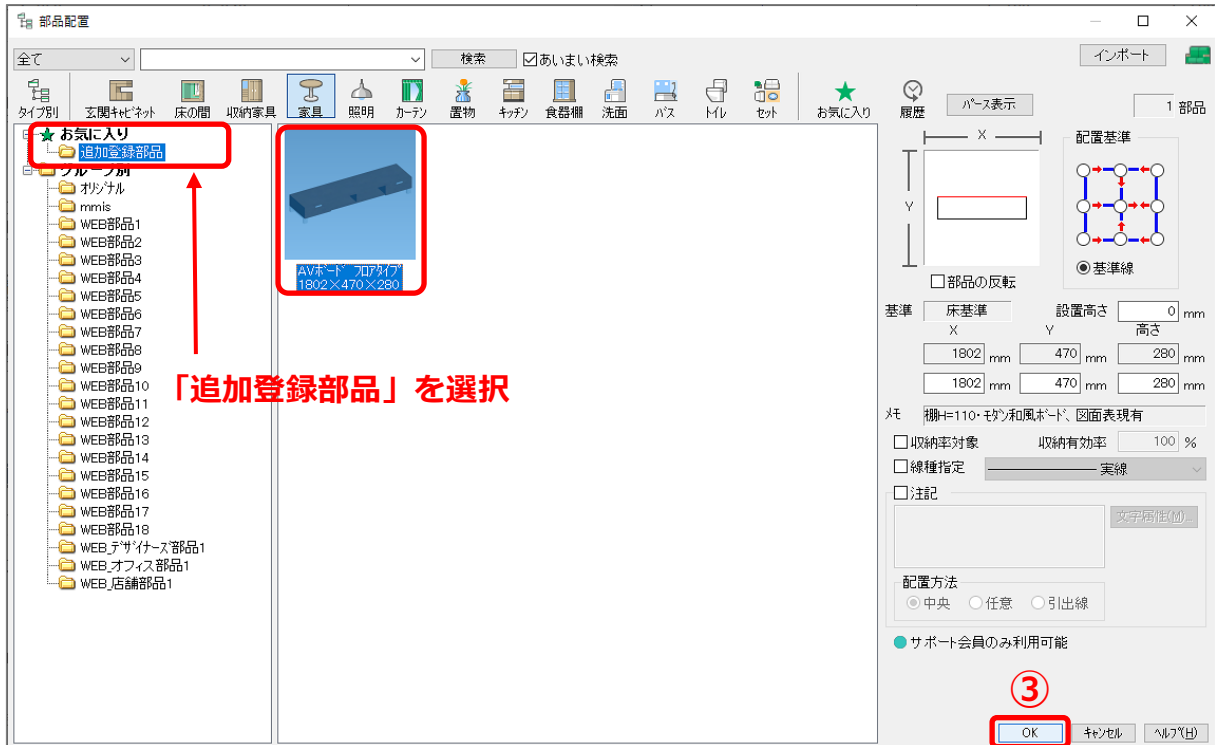
- ⑦ 「OK」をクリック
- * 「内観部品」の「家具」の「追加登録部品」グループに、編集した AV ボードの部品が追加されます。



● 登録した部品を配置し、図面での表示を確認

- ① (プラン図)で、 (内観部品)の (家具)をクリック
- * 部品配置の画面が表示されます。

- ② 左側のツリー表示から「追加登録部品」をクリック



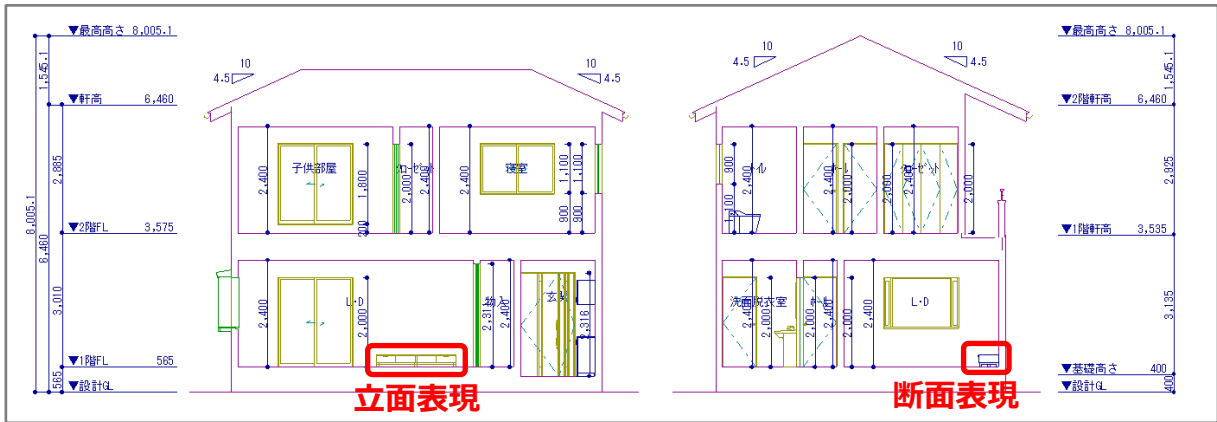
- ③ 登録した AV ボードの部品を選択し、「OK」をクリック

- ④ 部品を任意の位置に配置

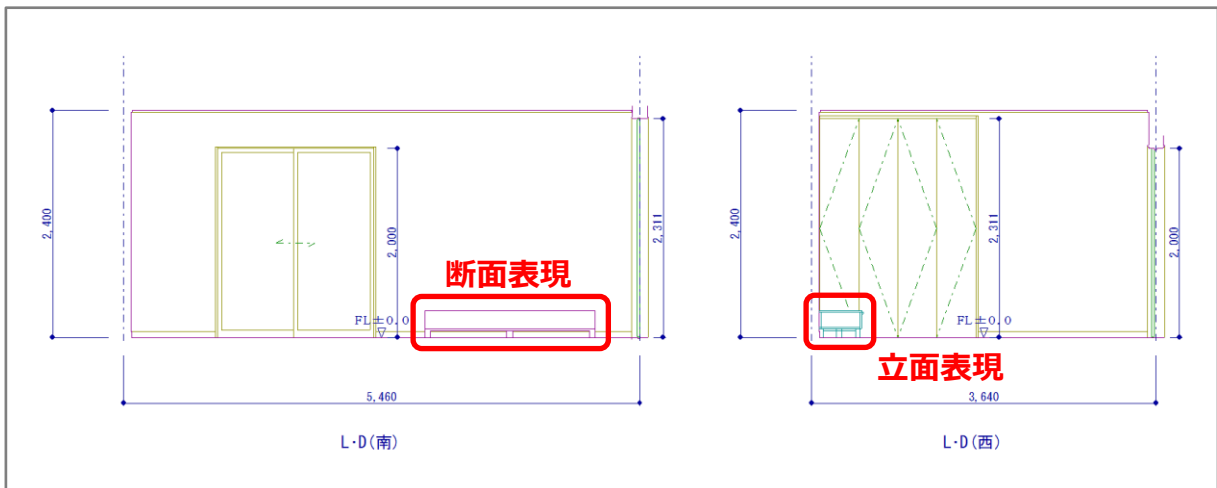
⑤ 各図面のアプリケーションで表示を確認

* 下の図は断面図・展開図での表示例です。

<断面図>



<展開図>




参考

プラン図や屋根伏図、外構図の部品配置のインポートから、3D 部品のデータ（3DS、SKP、FBX、3DDXF 形式のファイル）を取り込むと、

部品サムネイル、2D 平面、2D 外郭線・基準線・外郭領域、
2D 断面・立面表現（チェックを入れた場合）

の情報が自動で作成され、部品と一緒に登録されますので、断面図や矩計図、展開図、立面図でも表示
できます。

断面図や矩計図、展開図、立面図で表示させたい部品を、3次元部品作成で SKP ファイルとして保存す
ると、部品配置からインポートが行えます。

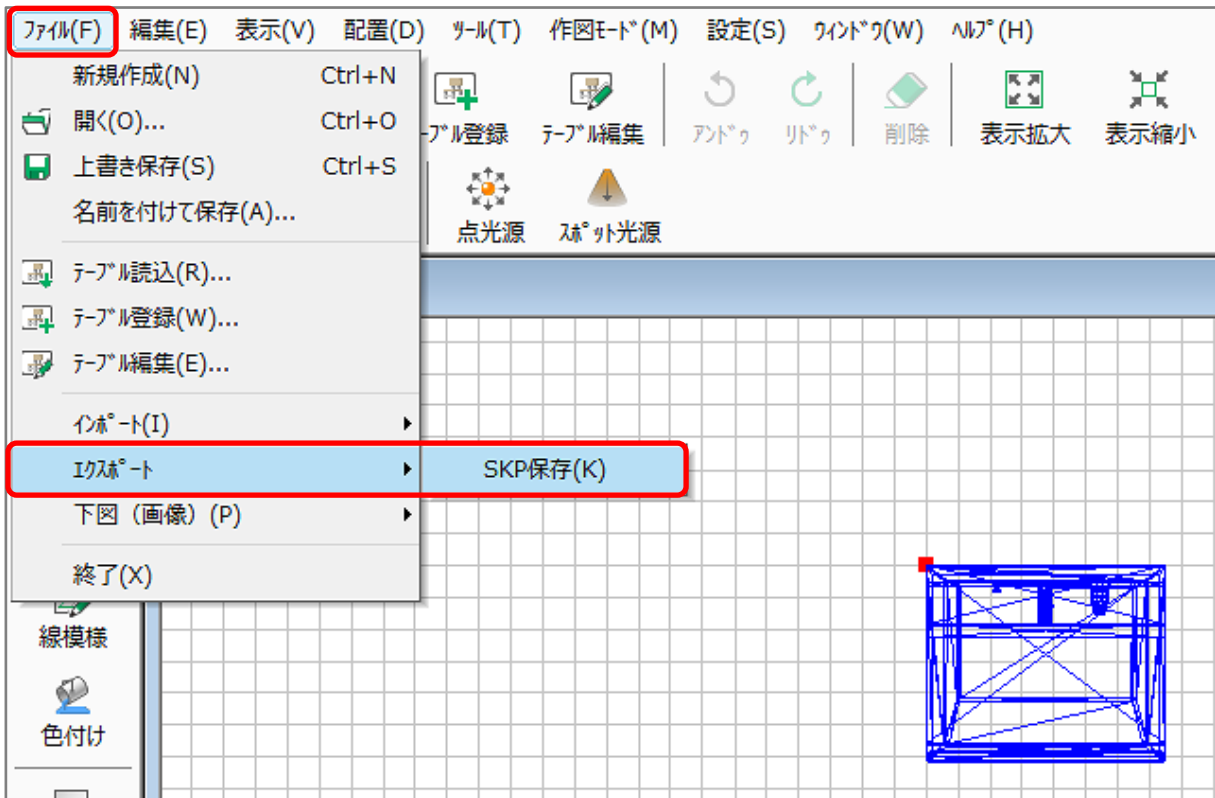
- ① P.1～2 操作①～③の手順で、 (テーブル読込) から目的の部品を 3D 画面へ読み込む



* ここでは、グループ別分類「WEB 部品 3」、配置別分類「内観部品」、種類別分類「洗面」から
「洗面化粧台 750_Ta1501」を選択しています。

WEB 部品は、サポート会員の方のみご利用いただけます。

② 「ファイル」⇒「エクスポート」⇒「SKP 保存」をクリック



* SKP 保存の画面が表示されます。

③ 保存先・ファイル名を任意に指定し、「保存」をクリック

- * ファイルの種類は「SketchUp Version 2021(*.skp)」でかまいません。
- * SKP ファイルに出力し、保存されます。

④ 3次元部品作成の画面を閉じる

⑤ 保存した SKP ファイルを、プラン図などの部品配置からインポート

- * 部品配置からインポートを行う手順については、こちらをご覧ください。

[\[1058\] 3DS 部品データの取り込み方法【部品配置】](#)